

アーカイブ Data Report

NO. 175

(2022年4月29日)

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル5F
E-mail: shikaku@npo-nak.com URL: https://npo-nak.com

NPO 日本アーカイブ協会・岐阜女子大学*・沖縄女子短期大学・学習システム研究会

(*岐阜女子大学デジタルアーカイブ専攻・研究所、沖縄サテライト校)

公共図書館におけるオープンデータの現状

山下 瑠・久世 均 (岐阜女子大学)

1. 公共図書館におけるオープンデータ

昨今、国内の地方公共団体や事業者のオープンデータ化が進められている中で地方公共団体が設置している図書館が所蔵する古写真や古文書といった地域資料などのデジタルアーカイブをオープンデータとして公開している姿が見られるようになった。これにより、オープンデータ化された資料を許諾申請する必要なく、自由にダウンロードして研究資料やデザインの一部、広報資料として二次利用する人々が現れた。オープンデータ化は教育やアプリなどを創作するうえで多くの手続きをする必要がなくなったことより利用がしやすく、そして情報源がしっかりとしたものであるため、情報への信頼性が上がっているといえる。しかし、一方でこのようにオープンデータ化が進んでいるように見えるがまだまだごく一部であり、実際はそのごく一部のオープンデータが活用されたアプリケーションなどが目立っているだけで日本の公共図書館全体でみると、各々の館でデジタルアーカイブを持っている館はあってもオープンデータとして資料のデータを公開している図書館はまだまだ少ない。

オープンデータを推進するにあたって図書館はオープンデータ化についてどのように進めていくことが必要なのか、公共図書館におけるオープンデータの現状について現地調査を含めて調査研究した。

2. 公共図書館におけるオープンデータの定義

オープンデータとは平成28年12月14日に公布・施行された「官民データ活用推進基本法」において、国、地方公共団体、事業者が保有する官民データの簡易な利用などについて内閣に設置された高度情報通信ネットワーク社会推進戦略(IT総合戦略本部)の官民データ活用推進戦略会議にて規定されたものである。

平成29年5月30日に出された「オープンデータ基本指針」の決定文書よりオープンデータの定義とは以下のように定義されている。

国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネットなどを通じて容易に利用(加工、編集、再配布など)できるよう、次のいずれの項目にも該当する形で公開されたデータをオープンデータと定義する。

- ① 営利目的、非営利目的を問わず二次利用可能なルールが適用されたもの
- ② 機械判読に適したもの

3. 公共図書館におけるオープンデータの事例

① 国立国会図書館

国立国会図書館デジタルコレクションの書誌情報について、図書・雑誌・古典籍の原資料の基本的な書誌項目 [タイトル, 巻次, シリーズ, 版表示, 著者, 出版社, 出版年, ISBN または ISSN, 冊数 (ページ数・大きさ), 主題 (日本十進分類法 (NDC), 国立国会図書館分類表 (NDLC), 件名, 古典籍資料種別)] とデジタル画像の書誌項目 (URL, 公開範囲), また, 国立国会図書館がデジタル化した博士論文の基本的な書誌項目 (タイトル, 著者, 学位授与機関, 学位授与年) とデジタル画像の書誌項目 (URL, 公開範囲) 及び, 歴史的音源の基本的な書誌項目 (商品番号, タイトル, 作詞・作曲・編曲者・実演家, 製作者 (レーベル), リリース日, ジャンル) と音源の URL が xlsx 形式ならびに tsv 形式で公開されている。公開範囲が「インターネット公開」, 「図書館送信・参加館配信」, 「館内限定」の 3 つに区分されており, 実際に自由に活用・公開できるのは「インターネット公開」のもので残り 2 つは, 自由に活用はできるが公開できる範囲が限られている。



図1 国立国会図書館のオープンデータ

② 鯖江市図書館のオープンデータ

福井県鯖江市ではホームページで公開する情報を多方面で利用できる XML, RDF で積極的に公開する「データシティ鯖江」を目指して積極的にオープンデータ化がすすめられており, 日本の開かれた政府 (オープンガバメント) の実現を目指す意向にできるところから, 取り組んでいこうと励んでいる。

鯖江市図書館は市のオープンデータ化及び活用の方針を受け, 図書館の利用をより便利なものにするをねらいに株式会社カーリルの協力のもと集められた屋内測位デバイスの位置情報, 鯖江市図書館の配架図のマップデータ, システムのプログラムなどのデータを GitHub 上でオープンデータとして公開しているほかソースコードもオープンソースとして公開している。

4. 課題

課題は多くあるが, その課題を解決していくためにもオープンデータの利用価値を発信していくことが必要である。まずはオープンデータの利用価値を様々な人達に発信することで理解してもらうことが重要である。



図2 「さばとマップ」